

「生活習慣に関するアンケート」結果からみた現状と課題

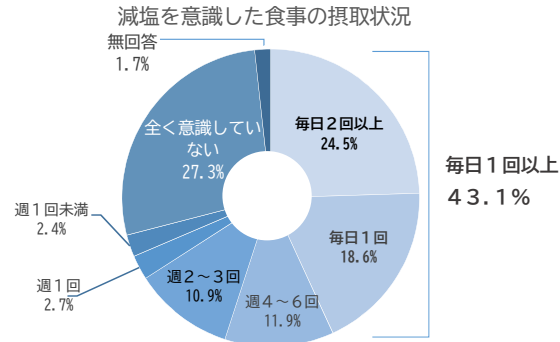
【資料2】

アンケートの調査 概要

- ① 調査対象 住民基本台帳から無作為に抽出した2,000人
- ② 調査期間 令和6年1月15日から1月31日まで
- ③ 調査方法 ・返信用封筒による回答
・インターネットによる回答
- ④ 回収状況 男性302人、女性432人、性別無回答17人
計 751人
回収率 37.6%
※前回 (H25) 36.5%

1) 栄養・食事

減塩を意識した食事を毎日1回以上摂っている割合が少ない。



2) 健康診断・がん検診

病気の予防や早期発見のために健(検)診を受けるという認識が低い。

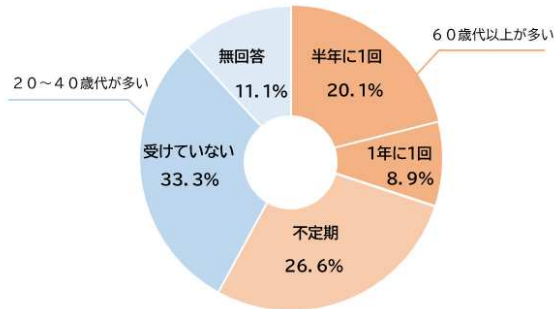
健康診断・がん検診の受診について

	定期的を受けている 不定期的を受けている	受けていない	健康診断・がん検診を 受けない理由 TOP3
健康診断	87.4%	12.6%	体調等が心配になったら、医療機関を受診する。 現在、体調等に問題がないから必要ない。 受けるのが面倒。
肺がん検診	55.6%	44.4%	
大腸がん検診	62.9%	37.1%	
胃がん検診	58.9%	41.1%	
子宮頸がん検診	62.8%	37.1%	
乳がん検診	59.7%	40.3%	

3) 歯・口腔

20歳代から40歳代の若年層で歯科検診を受けていない割合が多い。

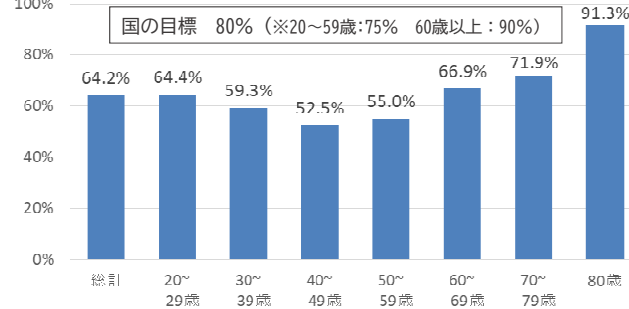
定期的な歯科検診受診状況 (20歳~80歳)



4) 休養・睡眠

睡眠で休養がとれている割合が少ない。

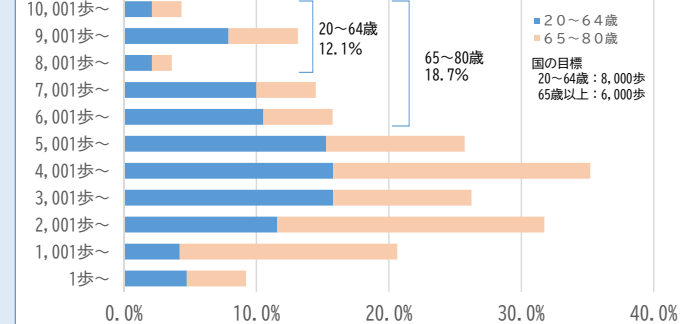
睡眠で休養がとれているかたの割合



5) 身体活動・運動

国が目標とする歩数に達している割合が少ない。

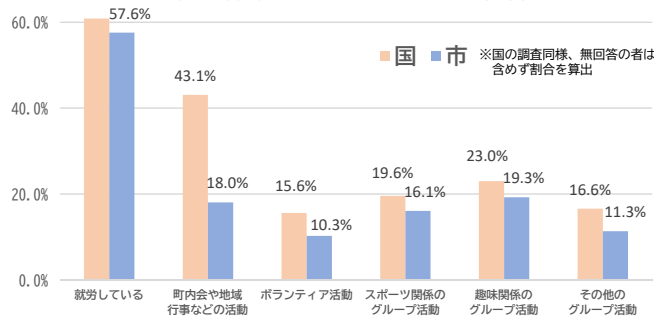
1日の平均歩数



6) 社会活動

社会活動に参加する市民の割合が少ない。

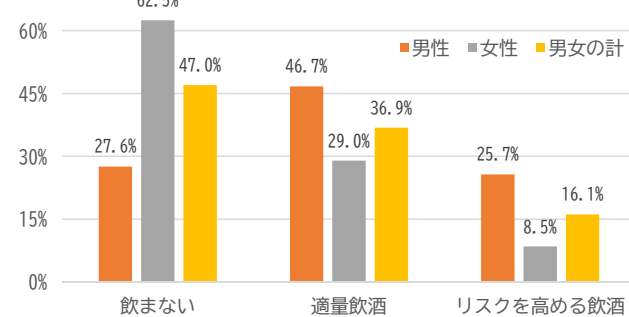
社会活動に参加しているかたの割合



7) 飲酒

生活習慣病のリスクを高める飲酒(2合以上)をしている市民が2割程度となっている。

飲酒の状況



8) たばこ(喫煙)

全ての場面で受動喫煙にあったと考えている市民が多い。

受動喫煙の状況

